様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　５年　６月 28 日

茨城県知事　殿

提出者
住　所　東京都中央区日本橋本町１丁目９番１号
氏　名　株式会社　鴻池組　東京本店
取締役常務執行役員 本店長　鎌田　克明
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号：03-5201-7570

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　鴻池組東京本店
事業場の所在地	東京都中央区日本橋本町１丁目９番１号
計画期間	令和５年　４月１日　～　令和６年　３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業〔Ｄ０６〕
②事業の規模	完成工事高　２４０，８４２百万
③従業員数	１９０７名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別　紙（添付資料　①）

茨城県
令 5.6.30 和
県北県民センター
受付

（日本工業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別　紙　（添付資料　②）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
排　出　量	24,156.92　t	1,917　t

（これまでに実施した取組）
・省梱包、無梱包化を図る。
・再利用可能な梱包材を使用させる。
・工事事務所での加工を減らし、工場で加工させ、端材の発生を抑制する。
・工法等を検討し、極力廃棄物が発生しない工法の採用を施主に提案する。
・型枠の転用率を向上させ、発生を抑制する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
排　出　量	16,800.00　t	1,350　t

（今後実施する予定の取組）
教育を実施し、継続的改善を行う。

【教育名称】	・実施時期（予定）		
・階層別職員集合教育	毎年４月～６月	・工事事務所長会議	毎月１回
・新規入場者教育	随時	・定例打合会	適宜
・安全衛生大会	毎月１回		

・CSR目標における環境負荷低減対策の取組の実施

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

「別紙　　産業廃棄物の一連の処理の工程」参照

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・工程・工種に合った分別を実施する。
・職長会を中心とした、作業員の自主管理体制を強化する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	金属くず	廃プラスチック類	木くず
排　出　量	19　t	1.70　t	321.58　t	551.00　t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	金属くず	廃プラスチック類	木くず
排　出　量	10　t	1.00　t	250.00　t	300.00　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類		混合廃棄物	紙くず	－
排　出　量	t	132.60 t	7.26 t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類		混合廃棄物	紙くず	－
排　出　量	t	90.00 t	5.00 t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t
	（今後実施する予定の取組） ・予定していない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和４年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t
	（今後実施する予定の取組） ・予定していない。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	金属くず	廃プラスチック類	木くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	金属くず	廃プラスチック類	木くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	金属くず	廃プラスチック類	木くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	金属くず	廃プラスチック類	木くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類		混合廃棄物	紙くず	－
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類		混合廃棄物	紙くず	－
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類		混合廃棄物	紙くず	－
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類		混合廃棄物	紙くず	－
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）

・特に実施していない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t

（今後実施する予定の取組）

・予定していない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
全処理委託量	24,156.92 t	1,917 t
優良認定処理業者への処理委託量	17,500.00 t	1,500 t
再生利用業者への処理委託量	15,000.00 t	1,200 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）

１）業者の選定
・東京本店安全環境部で審査した業者を使用している。
・安全環境部長への上申による承認業者を使用している。
２）処理能力及び許可品目の確認
・許可書及び現地視察による確認をしている。
３）委託契約書
・建設九団体作成の建設廃棄物処理委託契約書を使用している。
・二者契約を実施している。
・工事事務所長が契約を実施している。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	金属くず	廃プラスチック類	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	金属くず	廃プラスチック類	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	金属くず	廃プラスチック類	木くず
全処理委託量	19 t	1.70 t	321.58 t	551.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	15 t	1.70 t	320.00 t	450.00 t
再生利用業者への処理委託量	10 t	1.00 t	300.00 t	300.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類		混合廃棄物	紙くず	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類		混合廃棄物	紙くず	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類		混合廃棄物	紙くず	－
全処理委託量	t	132.60 t	7.26 t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	t	120.00 t	5.00 t	－ t
再生利用業者への処理委託量	t	100.00 t	5.00 t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	－ t	－ t	－ t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
全処理委託量	16,800.00 t	1,350 t
優良認定処理業者への処理委託量	15,000.00 t	1,200 t
再生利用業者への処理委託量	15,000.00 t	1,200 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t

（今後実施する予定の取組）

廃棄物の事業場内保管状況について
・産業廃棄物ごとのボックスを設置
・風等により飛散しないようにブルーシート等で保護

廃棄物の委託処理に関する事項
１）業者の選定
・山陰支店安全環境部で審査した業者を使用
２）処理能力及び許可品目の確認
・許可書及び現地視察による確認
３）委託契約書
・建設九団体作成の建設廃棄物処理委託契約書を使用

処理の確認
・電子マニフェストの普及に努める

※事務処理欄

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	金属くず	廃プラスチック類	木くず
全処理委託量	10 t	1.00 t	250.00 t	300.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	10 t	1.00 t	250.00 t	250.00 t
再生利用業者への処理委託量	10 t	1.00 t	250.00 t	250.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	#REF!	混合廃棄物	紙くず	－
全処理委託量	#REF! t	90.00 t	5.00 t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	#REF! t	80.00 t	5.00 t	－ t
再生利用業者への処理委託量	#REF! t	80.00 t	5.00 t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	#REF! t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	#REF! t	－ t	－ t	－ t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入するこ

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

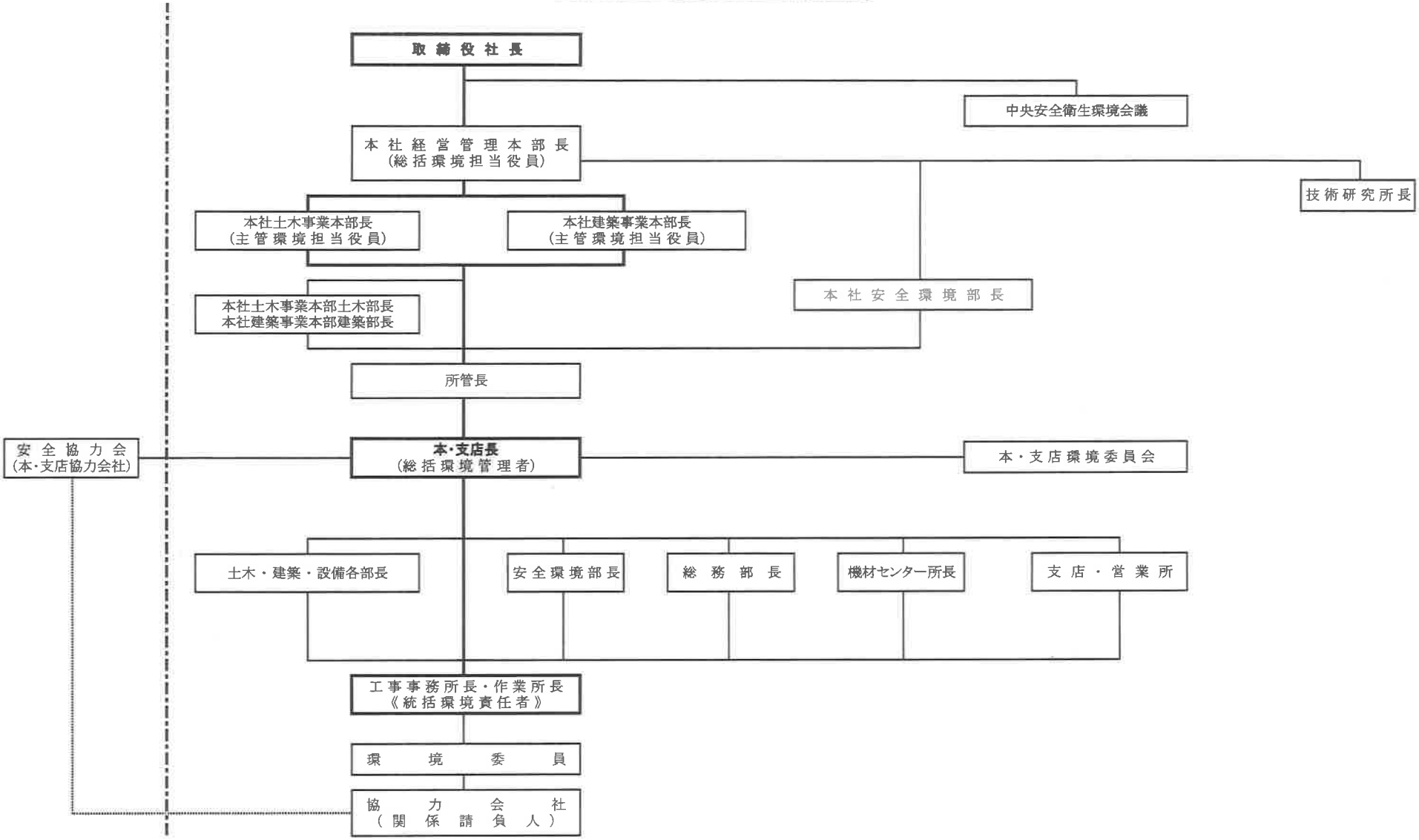
4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないとき「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

㈱鴻池組環境管理機構図


取締役社長
中央安全衛生環境会議
本社経営管理本部長
(総括環境担当役員)
技術研究所長
本社土木事業本部長
(主管環境担当役員)
本社建築事業本部長
(主管環境担当役員)
本社安全環境部長
本社土木事業本部土木部長
本社建築事業本部建築部長
所管長
安全協力会
(本・支店協力会社)
本・支店長
(総括環境管理者)
本・支店環境委員会
土木・建築・設備各部長
安全環境部長
総務部長
機材センター所長
支店・営業所
工事事務所長・作業所長
《統括環境責任者》
環境委員
協力会社
(関係請負人)

産業廃棄物の一連の処理の工程

分別品目	内訳	再生資源化施設/再生用途		最終処分場
コンクリートガラ	コンクリート	砕石工場	再生砕石	
廃アスファルト	廃アスファルト	合材工場	アスファルト合材	
石膏ボード	石膏ボード	製造メーカー	石膏ボード原料	
ガラス・陶磁器くず	ケイカル板・ロックウール・岩綿吸音板・グラスウール・ALC残材・ガラス・便器	製造メーカー	再生利用	
塩ビ管	塩ビ管	メーカー	塩ビ管	
発泡スチロール	発泡スチロール	オープンドラム方式	ペレット原料	
廃プラスチック類（フィルム系）	シート類・ビニール類	廃プラスチック再生工場	プラスチック製品原料	
廃プラスチック類（軟質系）	長尺塩ビシート・ロープ類・ウレタン類・ビニールホース・ポリ容器・PPバンド・コーキング・ガラ袋・ビニールクロス・絶縁テープ			
廃プラスチック類（硬質系）	タイルカーペット・スペーサー・目地棒・合成ゴム・ソフト巾木・パッキン・プラ製看板・Pタイル・カラーコーン・バー			安定型埋立
金属くず	メタルフォーム・軽鉄・ダクト残材・アルミ・金属パイプくず・ステンレス・鉄筋くず・電線くず・番線くず・空き缶	金属専門工場	金属製品原料	
木くず（再生可）	バタ角・巾木くず・足場材・コンパネ・型枠材・梱包くず・桟木・化粧合板・生木・伐採根	木くず専門工場	燃料チップ	
木くず（再生不可）	コンクリート等が付着した物	再資源化施設	再生砕石代替スラグ他	
繊維くず	軍手・ウエス			管理型埋立
ダンボール	ダンボール	古紙専門工場	製紙原料	
紙くず	図面・紙テープ・紙管・梱包紙			
その他 （処理困難物）		再資源化施設		管理型埋立